

平成 28 年度座談会「町長と語ろうまちづくり」(生涯学習センター)

開催日時	平成 28 年 11 月 30 日 (水) 午後 7 時から午後 9 時	天気 晴れ
場 所	生涯学習センター	
町民参加者	男 13 人 女 4 人 (40 代以下 1 人、50 代 1 人、60 代以上 15 人)	
町出席者	町長、副町長、教育長、参事兼企画政策課長、総務防災課長、保険健康課長、定住対策課長、生涯学習課長、事務局 2 人	

出席者から出された主な意見や提案

《テーマ：今後の自治会のあり方》

○何かあったときには自主防災組織や民生委員にお願いするなど、自治会としてやらなければならないことがあるのは十分にわかっているが、自治会活動の負担が大きく、いろいろな役を受けることが出来ないのが現状である。町で自治会促進をしているが、実際には自治会をやめたいという話が出てきている。町としては、いろいろな問題を抱えた自治会とどの様に関わっていくのか。

○自治会の合併や組の再編をしても、人数が増えても高齢の人が多いため、役をやる人は同じになってしまう。そうすると軒数が増えて、組長の負担が増えるだけになってしまうことも考慮して、町として出来ることをしてもらいたい。

○自治会については、自治基本条例を策定する際にいろいろな話が出て、自治会の再編についても話が出ていたが、現在では進展が無いように思える。自治基本条例の見直しを行い、行政と自治会で議論を行ってまとめてはどうか。

○猪や鹿がだんだん山から下りてきて堂山でも被害を受けている。このままでは町の中が猪や鹿ばかりになってしまうことを危惧している。猟友会やジビエ等で対応していると思うが制限があると思うため、山に戻す方法や今までに無いような方法で何か対策を行う必要があるのではないかと。

○サンライズ山北は元々人口増が目的だったと思うが、サンライズ山北は満室だが、空き家等が増えて人口が減っている。町で町営住宅等を建てるのではなく、空き家になりそうな家の持ち主やアパート等を建てる人への補助といった民間の活性化に重点を置いた方がいいのではないかと。

○向原地区には小田原百貨店があるが、山北地区は数年間でふるぎやや丸十が閉店になってしまったため、買い物を出来る場所がコンビニぐらいになってしまった。コンビニでは品数が限られ、値段も他のスーパー等より高価なため、車を持っていない人や高齢の人にとって買い物が非常に

困難である。何か対策を行ってほしい。

○町には文化や歴史が多くあるため、町が前面に立ってそれらをもっと活かしてはどうか。町には桜まつりや産業まつりなどの祭りがあるが、例えば産業まつりの日数を増やすなどを行って祭りで町を活性化させてはどうか。また、室生神社の流鏝馬や道祖神まつりなどは、政教分離の関係もあるが町が前面に立ってそれらを行ってはどうか。

○D5270について、どのぐらいの費用が掛かったのか。

○町内には国道246号や東名高速道路の上下線が通っており、今後は新東名高速道路が通るようになる。1年間に2回ほど大気測定を行っているが、246号沿いや消防署、清水のガソリンスタンドは特に大気汚染がひどい。排気ガスが多いと子供の喘息に影響するが、町の喘息の子供の数は57人いる。川村小学校402名のうち45名、三保小学校は25名のうち3名、山北中学校は9名が喘息であり、人数を見ると川崎市と同じぐらいの割合である。中日本に脱硝装置を付けるようお願いしたが、子供が病気になりやすいことも考えて町としても中日本に脱硝装置を付けるようお願いするなどして対策をしてはどうか。